

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：課長 中島 威夫

事業名 一般国道8号 <small>さんじょうかくふく</small> 三条拡幅	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北陸地方整備局
起終点 自：新潟県三条市大島 <small>さんじょうしおおしま</small> 至：新潟県三条市土場 <small>さんじょうしどば</small>	延長 6.1km	
事業概要 一般国道8号は、新潟県新潟市から京都府京都市に至る延長約560kmの主要な幹線道路であり、北陸自動車道を補完し、新潟市と沿線市町村および沿道市町村相互の交流を支える重要な路線である。三条拡幅は、延長3.3kmの6車線及び延長2.8kmの4車線道路である。		
S49年度事業化	S38年度都市計画決定 (S58年度変更)	S53年度用地着手
全体事業費 約370億円 事業進捗率 87% 供用済延長 3.5km		
計画交通量 39,300台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 2.0 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/事業全体 84/124億円 事業費 ：67/107億円 維持管理費 ：17/17億円	総便益 (残事業)/事業全体 252/252億円 走行時間短縮便益 ：196/196億円 走行費用減少便益 ：24/24億円 交通事故減少便益 ：32/32億円
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道の混雑時旅行速度の改善が期待される） ・安全な生活環境の確保（現道の死傷事故率の高い区間の安全性の向上が期待できる）		
他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 三条拡幅は、地域交流の促進・交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、三条市をはじめとする、関係3市の首長で構成される一般国道8号改良整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年7月25日）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業計画路線周辺での土地利用状況の変化。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに、1.8km区間で4車線完成供用、1.7km区間で4車線暫定供用中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成14年度までに用地買収の約8割を終了しており、引き続き用地買収・工事を推進し、平成15年度に部分供用。		
施設の構造や工法の変更等 新技術、プレキャスト製品の積極的活用、再生材の活用等のコスト縮減を考慮した計画となっており、今後一層の建設コスト縮減に努める。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの、事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。